気象庁
札幌管区気象台
Sapporo Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

報　道　発　表

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和７年７月11日
札幌管区気象台
函館地方気象台

函館レーダーで二重偏波気象レーダーの運用を開始しました

函館レーダーは、二重偏波気象レーダーに更新し、令和７年７月11日11時05分に運用を開始しました。雨の強さや雨雲の動きを従来よりも正確に観測でき、防災気象情報の改善が期待できます。

二重偏波（にじゅうへんぱ）気象レーダーは、水平偏波・垂直偏波の２種類の電波を用いて雨粒を観測し、より多くの情報を用いて雨の特徴を捉えることができます。このため雨の強さを従来よりも正確に観測でき防災情報の改善が期待される気象レーダーです。本気象レーダーの特徴については、別紙をご覧ください。

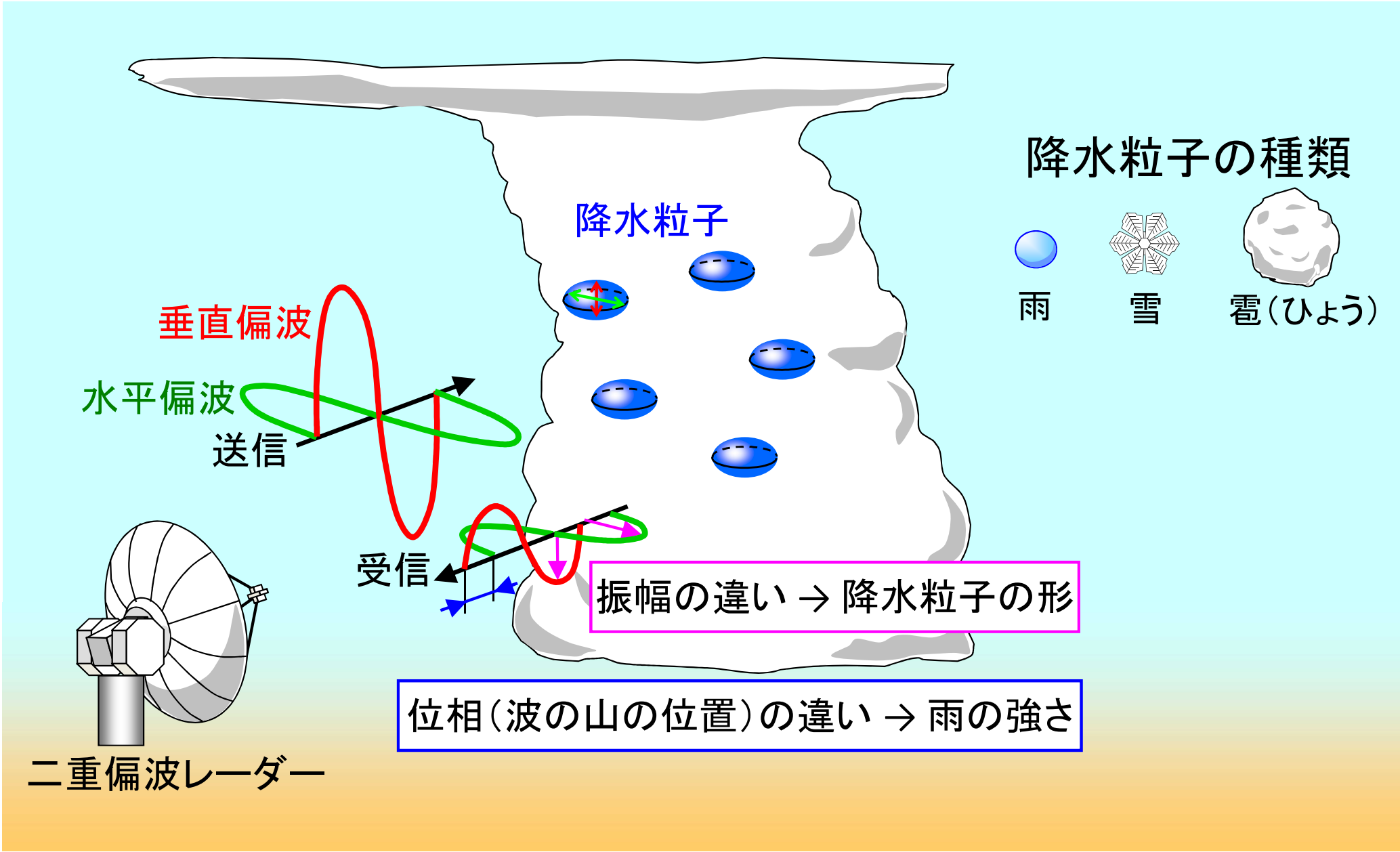
気象庁では、台風や線状降水帯等大雨の監視能力を強化し、警報・注意報等の情報を改善するため、全国の気象レーダーを、順次、二重偏波気象レーダーに更新していくこととしております。

今般、函館レーダーに二重偏波気象レーダーを導入し、令和７年７月11日11時05分から運用を開始しました。

この気象レーダーの観測結果は、運用開始後から、気象庁ホームページ内の「雨雲の動き」をはじめ気象庁から配信する気象レーダー関連観測資料へ反映されます。

問合せ先：札幌管区気象台気象防災部
観測整備課　齋藤
電話 011-611-6277

二重偏波気象レーダーの仕組み

（別紙）

- 水平・垂直の2種類の電波（ものさし）を利用
- 水平・垂直の違いを解析し、雨粒などの形や大きさ、雨の強さを推定可能